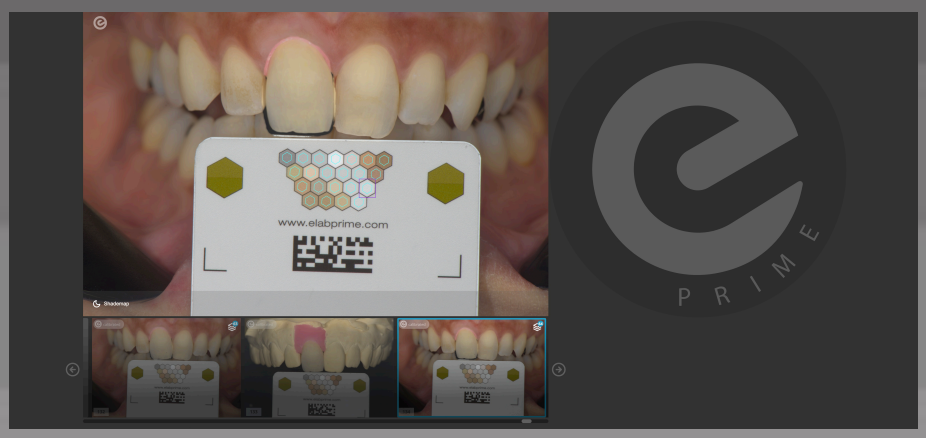
eLAB Course Japan 2026

「感覚」ではなく「数値」で迫る色調再現

『eLAB prime』を使用したハンズオンコース６日間



2024年・2025年に大好評をいただいたeLABコースは、2026年より全2回構成で、より理解しやすく臨床で即実践できる内容へと進化いたします。

第1回 eLAB Basic Course（モノリシック）

eLABのコンセプトを正しく理解し、L*a*b*のコントロールをマスターしていただきます。
グリーンステージ（焼結前）でのインフィルトレーションを行い、近年注目されるリキッドセラミックを活用することで、モノリシック修復においても築盛のような表現が可能となります。実習では、世界中で大ヒットし、先日日本でも満を持して発売が開始された『MiYO』を用いた色調再現を行います。

第2回 eLAB Advance Course（PFZ）

eLABレシピを使用し、PFZの作製を実践していただきます。
オパシティコントロールを正しく理解し、その上でカラーコントロール、さらにトランスコントロールを学んでいただきます。

皆さまの臨床に直結する内容をご用意しておりますので、ぜひご参加ください！

講師

渡部 正己 先生

2004年 名古屋歯科医療専門学校卒業
2005年 大阪大学歯学部附属病院歯科技工研修修了
2005年 三晶デンタル技工勤務
2011年 大阪セラミックトレーニングセンター週末コース修了
2013年 Smile By Yugo勤務（オーストラリア）
2015年 Master Dental Services Dental Laboratory勤務（オーストラリア）
2021年 グローバルネクスト株式会社開業（日本）

あなたはまだ感覚で色合わせしてますか？

『シェードは数字で合わす時代』です！！

第1回セミナー内容

Day 1: Evening lecture, Shade take
- そもそもeLABとは何か？
- カメラの設定方法とシェードテイクの仕方
- eLABシェードテイクのデモ
- eLABシェードテイクの実技

Days 2 & 3: MiYO Hands-on course
- 中切歯単冠の作製
- インフィルトレーション
- eLAB primeを用いた色調再現法
- L*a*b*のコントロール
- ストラクチャーのコントロール方法
- Digital Try-in

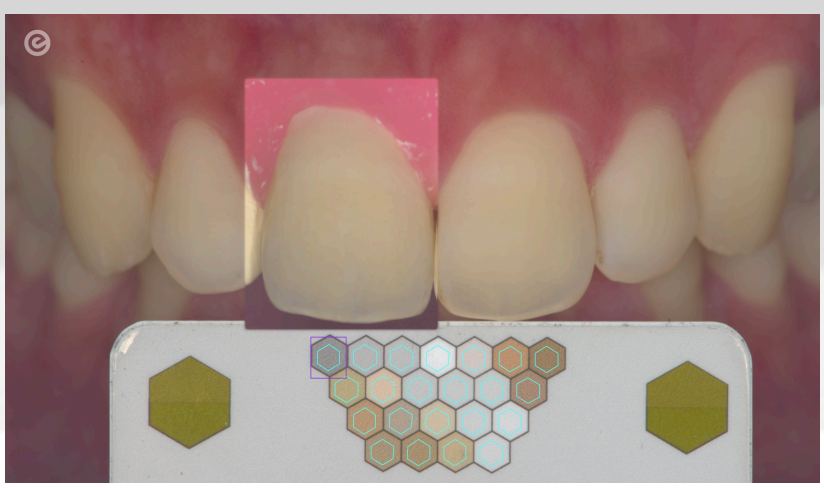
Monolithic

第2回セミナー内容

Day 1: Evening lecture, Shade take
- 第１回の復習とオパシティコントロール講義
- 受講生eLABシェードテイク
- インフィルトレーション
- シュミレーションモデル製作

Days 2 & 3: Hands-on course
- 中切歯単冠の作製
- オパシティコントロール
- eLAB primeを用いた色調再現法
- L*a*b*のコントロール
- トランスコントロール
- Digital Try-in

PFZ



開催日時

第１回　2026/3/13（金）・14（土）・15（日）
第２回　2026/8/21（金）・22（土）・23（日）

(Fri)16:00~19:00　(Sat)9:00~18:00　(Sun)9:00~15:00

※金曜日と土曜日夜に懇親会を予定しております

定員数

15名

定員になり次第締め切らせて頂きます

受講費

300,000円（6日間合計）

Hands-on courseは上記金額に材料費、昼食代、消費税が含まれています
金曜・土曜夜に懇親会を予定しております（実費）
決済後のキャンセルは各種手数料を引いた額を返金いたしますのでご了承ください

持参物

使い慣れたインスルメントや築盛道具、各種バー
ジルコニアフレーム・模型・陶材はこちらでご用意します
お使いの一眼レフカメラとMacbook
当日ポーラーアイズと専用グレーカードは貸し出します（購入も可）

polar_eyes

WHITE_BALANCE
GREY REFERENCE CARD

基本的にNikon か Cannonの最新モデルでなければ問題ありません。
※お使いのカメラが使用可能か気になる方はお問い合わせください。

会場・お問合せ

Amorphous事務局

大阪府大阪市中央区本町２−３−４ アソルティ本町７階 LAZARUS内

※お問い合わせは下記LINEにてお願いいたします

申込方法

セミナー専用公式LINEにご登録ください
LINEにて参加申し込みフォーム・お支払い方法を送信します
公式LINE登録は左のQRコード読み取り（ID：@589kghfp）

supported by

バカ社長の独り言

弊社（ラザロ）でeLABを本格導入し、約１年が経過しようとしている。

導入した感想を結論から言うと・・・**「ホンマによかった」**
この一言に尽きる。

それまでは、恥ずかしながら弊社には色調再現が得意な技工士があまりおらず、筆者としても色調再現ケースからは「逃げていた」というのが本音であった。

しかしeLABを本格導入してから、目に見えて色調再現ケースの再製率が激減した。
「再製率が下がった」ということは「利益率が上がった」ことと同じであり、経営者である筆者としては正直笑いがとまらない。ここのところ、**キングスライムくらいずっと笑っている。**

そして副次効果として、eLABだけではなく普通のシェードタブを使ったシェードマッチングの再製率も著しく下がった。これはeLABシステムをマスターすることにより、L*a*b*のコントロールが脳内で自動にできるようになったからだと推測される。

また、スタッフの色調再現ケースへのモチベーションも大きく向上した。eLAB導入前と違い、確証を持ってケースに向き合えるのは大いなる自信となるのだろう。

そんなスタッフを見ていると、経営者である筆者としては正直笑いが止まらない。
ここのところ、**蛭子能収くらいずっと笑っている。**

偉そうな事を言わせて頂くが、**結果は弊社ではすでに証明済みなのである。**

『しっかり咬合させる』『色も合わせる』

『両方』やらなくっちゃあならないってのが

『技工士』のつらいところだな

覚悟はいいか？

オレはできてる

東京へ向かう列車の中にて
LAZARUS/Amorphous 代表 村田彰弘Ⓐ